

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 5 月 9 日

事務事業名		消防出初式開催事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	040102000677	
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	030401	
政策体系	総合計画の施策名	0401 防災・消防対策の充実				主要事業	対象外		生活安全課	
	政策名	04 快適で潤いのある生活環境づくり				市長マニフェスト	対象外			
	施策名	01 防災・消防対策の充実				未来PJ事業	対象外	グループ	生活安全	
	基本事業名	02 防災消防体制の強化				合併建設計画事業	対象外			
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	09	01	02	01	00	非常備消防事業			
法令根拠							単年度繰返し (平成18年度~)			
							期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順				
	<p>年頭に当たり、桜川市消防団員としての責務と誇りを再認識するとともに、品位の向上及び団員相互の団結を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与することを目的として消防団出初式を実施している。大和ふれあいセンター「シトラス」において式典を国、県、日本消防協会、茨城県消防協会、筑西広域消防本部の功労者表彰と併せて実施し、式典後には、大和庁舎駐車場において分列行進、その後各地区に分かれて放水試験を実施している。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 招待者名簿の作成 開催案内の送付 式典シナリオの作成 表彰状の作成 表彰状の筆耕依頼 記念品の購入 式辞作成 分列行進の位置付け 放水試験会場位置付け 				

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
<ul style="list-style-type: none"> 招待者名簿の作成 開催案内の送付 式典シナリオの作成 表彰状の作成 表彰状の筆耕依頼 記念品の購入 式辞作成 分列行進の位置付け 放水試験会場位置付け 	消防団員数	人	555.00	554.00	558.00	560.00	560.00	
	招待者数	人	36.00	34.00	48.00	48.00	48.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
消防団員	消防団員数	人	555.00	554.00	558.00	560.00	560.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
消防団員としての責務と誇りを再認識し団結を図る。	住みやすい住環境であると答えた人の割合	%	52.40	48.20	49.00	49.00	49.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量(事業費)の推移

投入	事業費	財源内訳	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	30年度(目標)	31年度(目標)	期間限定総投入量
量	費	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0
		一般財源	17	21	20	20	20	20
	事業費計(A)	17	21	20	20	20	20	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	1.00人	1.00人	1.00人	
	述べ業務時間	時間	196.30	314.00	317.30	317.30	317.30	
	人件費計(B)	千円	569	911	920	920	939	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	586	932	940	940	959	

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)			29年度事業費 予算 (千円)		
	08 報償費	11 需用費	13 委託料	08 報償費	13 委託料	
	10	4	7	7	13	
	合計	21				合計 20

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> 主要事業 市長マニフェスト 未来PJ事業 合併建設計画事業 			

事務事業名	消防出初式開催事業	事務事業No.	40102000677	所属課	生活安全課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 消防団設置以来、大和ふれあいセンター「シトラス」において全団員を対象に実施している。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 分列行進や放水試験には市民が多数見物に来ており、消防団員の勇壮な姿を見せることにより、地域の安全を消防団に任せることができ安心して生活できているという意見がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容
現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	消防団員としての責務と誇りを再認識するとともに、品位の向上及び団員相互の団結を図ることは防災消防体制の強化に繋がるため市の政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	出初式を行うことで消防団員相互の団結が図られ防災消防体制の強化に繋がるため、市が行うのは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない	消防団員は90%以上の参加率であり、期待どおりの成果である。全員が参加することが理想ではあるが、現時点では成果の向上は難しい。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	消防団員の士気が低下し団結も弱まることで、防災消防体制が弱体化する。市民生活の安全安心のためには継続しなければならない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない	出初式の類似事業はないため、統廃合や連携はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない	できるだけ必要最小限の事業費で行うよう努めている。また、準備及び当日の業務もあり、外部委託等はできない。人件費も必要最低限に抑えている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	消防団員相互の団結が図られることは防災消防体制の強化に繋がり、すべての市民が受益者となるため特定の受益者はいない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 出初式は消防団の事業の中でも主要事業であり、訓示や表彰を行うことは消防団員の士気の高揚、団結力の強化に効果的である。分列行進や放水試験は見物する市民にも好評であり、より魅力的なものになるようさらに工夫していきたい。																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨																								
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
低下		×	×	×																					
(6) 事務事業優先度評価結果																									
成果優先度評価結果 ④																									
コスト削減優先度評価結果 ⑧																									

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>